



スペシャルオリンピックス日本・山口ニュースレター

## 第6号

2001年1月発行

事務局 〒755-0151  
宇部市西岐波区向坂3041小倉方  
TEL(0836)54-4644 FAX(0836)54-4645  
e-mail sonyamaguchi@mbg.nifty.com  
発行 広報委員会

# げんき!!



## 新年あけましておめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。

スペシャルオリンピックス日本・山口にとって昨年は実質的な一年目で、キャンプやSOディ、そしていろいろな研修会などこれから会を進めていく上で多くの事を学び経験をすることができました。

今年は、昨年学んだことを、実際のプログラムの中で実践していく年です。すべてのアスリート・ボランティア・ファミリーがつながりを強くし、もう

一歩前進できるようがんばっていきましょう。

また、今年からは本格的に他の地区の会員との交流が始まります。山口では、水泳の記録会やコーチトレーニングが予定されています。これまでとは違った世界でスペシャルオリンピックスの事について勉強ができます。いろいろなプログラムや行事には積極的に参加し、たくさんの友達をつくって今年一年楽しい時間を過ごしましょう。

# 秋晴れのもとSODAY開催される



11月23日、秋晴れの下「SON山口・スペシャルウォーク」が小郡駅北口開発用地を中心に開催されました。

最初に岩城副会長のあいさつがあり、次の田中コーチの概要説明のところで、河村会長到着。「今日の会ができるのは、お天気のおかげです。お空にありがとうを言いましょう。」とあいさつがありました。

三隅プログラム委員長の指導による準備体操の後、12のグループに分かれてスタート。一路最初の目的地である其中庵（ごっちゅうあん）を目指します。

みんなで楽しくおしゃべりをしながら、ゆるやかな坂道を登ると、一件の古家が見えてきました。それが、俳人種田山頭火が晩年を過ごした其中庵です。そこに待っていたのは、輪投げゲームとおいしいジュースです。



一息入れたら、中盤です。今来た道を下って、駅の南側へ行きます。山陽本線をまたぐ跨線橋はかなりの坂です。へばらないで歩きます。それから終盤戦、風の並木通りを抜けると小郡駅の新幹線口が見えてきます。連絡通路を通過して、ボランティアの声援を受けながらゴール。



ゴールでは、お楽しみのふぐ鍋とおにぎりが待っていました。芝生の上で輪になって食べる昼食はとっても美味しいものでした。

参加者は総勢150名（ふぐなべ、おにぎり作成ボランティア含む）でした。

今回、「SODAYスペシャルウォーク」の開催に当たりまして多くのご協賛・ご協力をいただきました。御芳名を紹介し謹んでお礼申し上げます。

（敬称略）

山口トヨタ自動車株式会社

大塚製薬株式会社

株式会社イエローハット山口営業所

下関唐戸魚市場株式会社

コープやまぐち / 高齢者生活協同組合 さんコープ

小郡町役場 / 小郡商工会議所 / 株式会社生田

小郡町新丁区自治会 / 小郡町明治北区自治会

小郡町立小郡中学校 / 小郡不動産 / 岩城酒舗

小郡町3B体操 / 万歩クラブ / 太極拳 / オンチクリ

ニックの皆様



## 新年のご挨拶

スペシャルオリンピックス日本・山口会長 河村 隆子

新年あけましておめでとうございます。

いよいよ21世紀の幕開けです。「戦いの世紀」といわれた20世紀を後にして、「共生の世紀」に向けて世界中の人達が希望にもえて新年を迎えました。

SON山口も、この1年、多くの方々のご支援と参加によって、素晴らしく充実した発足1年の足跡を刻むことができました。「水泳」「ボーリング」「テニス」に加えて、「サッカー」プログラムが始まろうとしています。アスリートの皆さんもファミリー・ボランティアの皆さんも小さな自信とあふれる期待で新年を迎えたことでしょう。

2003年SO夏期ワールドゲーム「アイルランド」にむけての国内予選となる2002年第3回SO夏期ナショナルゲーム「東京大会」をめざして、更に楽しい1年となりますよう今年も各自の「夢」「目標」に向かって「チャレンジ!!!」です！

今年もたくさんの仲間ができますように！

## 2000年クリスマスパーティー開催

12月17日(日)小郡駅南集会所におきまして、「SON山口・クリスマスパーティー」が開催されました。6時開始予定でしたが、その前の水泳プログラムの関係もあり6時15分、ファミリーの横山さんの司会で始まりました。

最初は、アスリートの佐伯くんによる開会宣言。岩城副会長による簡単な挨拶のあと、皆がまっていた水泳プログラムの表彰式です。山根副会長より、表彰状とクリスマスをイメージしたメダルの授与がありました。表彰を受けるアスリートの顔はさすがに嬉しいものがありました。



そして、いよいよお食事タイムです。下川コーチを始めとするボランティアが心を込めて作ったというカレーライスとはとても美味。唐揚げにウインナー、クリスマスケーキ、新鮮な牛乳が食卓を賑わせます。その美味さからか、アスリート・ボランティア・ファミリーの会話も弾んでいました。



お腹もふくらんで一息ついたら、歌の時間です。下川コーチのリードで、アスリートの歌うクリスマスソングが会場内に響き渡りました。そうこうするうちに場内が暗くなり、正面からきらきら光る物体が…。場内が騒然となりました。その正体は、電飾のもみの木を頭に付けた河村会長でした。その時、会場の外に赤いものがちらちら、子供たちは窓の近



### 松本耕二さんSO日本スポーツディレクターに



11月5日のSON執行委員会の席で、2001～2002年のSO日本のスポーツディレクターに山口から松本耕二さんが就任することが決まりました。スポーツディレクターとは、全国のコーチクリニックの開催の調整をしたり、競技会などでの運営方法について指導をしたりするSOにとっては大変重要な役割です。大役を任された松本さんは「今後、SONの活動を主体にされることとなるでしょうが、そのことが直接的ではないかもしれませんが、SON山口のためになれば...と思っています。間接的にはありますが、アスリートのスポーツ参加促進につながればこの上ない喜びです。」と抱負を述べておられます。SOのためご活躍されることを願っています。



くに集まります。それは、フィンランドからやって来たサンタクロースでした。「スペシャルオリンピックに来てくれるよい子にサンタのおじさんがプレゼントをあげよう！」英語圏からやってきたとは思えない流暢な日本語で話すサンタの廻りはもう子供たちでいっぱいです。サンタは一人一人にプレゼントを渡します。プレゼントをもらった子供たちは満面の笑みを見せてくれました。

そして、SOになくなくてはならない「アブラハムの踊り」で、パーティーは大盛り上がり。最後は、アスリートの新田さんの挨拶で楽しい一日を終了しま



した。パーティーのたびに参加者が増え、今回は90名を超す大所帯となりました。次回から会場探しに苦労しそうです。

今回のクリスマスパーティーに多くのご協賛・ご協力をいただきました。御芳名を紹介し謹んでお礼申し上げます。

(敬称略)

下川精一郎・田辺時夫・金井健一・柳井英子・春日洋子・鉄穴美恵・松永信子・三隅外科一同



## 第1回西部地区コーチトレーニング

10月7・8の両日、大阪府長居ユースホテル・大阪教育大学付属養護学校を会場に第1回西部地区コーチトレーニングが行なわれました。今回、山口からは沖田美枝子(ボウリング)、重見幸子(ボウリング)、山田和子(テニス)、三隅隆弘(委員長)の4名が参加しました。

プログラムの主な内容は、ゼネラルオリエンテーション コーチエデュケーションシステム スポーツルール プランニング コミュニケーションワーク ディビジョニング スポーツプログラム委員長会議といったもので、大変内容の濃いものとなりました。

特に、スペシャルオリンピックの固有のルールであるディビジョニングは、ちょっと難解なもので、習得するにはいろいろと経験してみないといけないのではないかと思います。

## 2000年秋冬プログラム無事終了

2000年秋冬プログラムも12月17日をもってテニス・ボウリング・水泳の3種目を無事終えることができました。ボランティア・ファミリーの皆様ご協力ありがとうございました。以下は水泳の綿田コーチの報告です。



水泳ヘッドコーチ 綿田道宣

第4回水泳プログラムが12月17日に終了しましたことを、皆様方とともに喜びたいと思います。水泳プログラムのアスリートの参加者は24名でした。

発表会でのアスリートの皆さんのカー杯の泳ぎに大変感動いたしました。

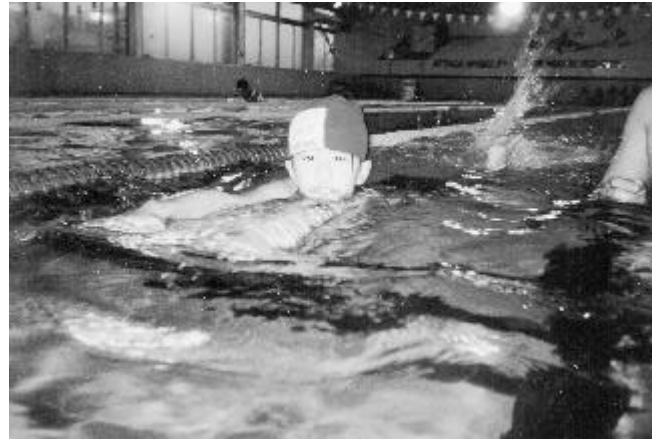
水泳コーチの皆さん方の熱心なご指導にも感動しました。

アスリートの皆さんは一回ごとに目を見張るほど素晴らしい泳ぎをされ、その成長ぶりを頼もしく思いました。

充実した楽しい水泳プログラムになっていることを実感し、喜んでいきます。



アスリートの皆さんも水泳プログラムの日を楽しみにされておられますが、私も水泳プログラムの日を大変楽しみにしております。



小方和子さん、三隅泰子さんその他スタッフの皆さん方のご協力があり、水泳プログラムが運営できました。お礼申し上げます。

水泳コーチの皆さん方、ファミリーの皆さん方、お世話になりました。

有り難うございました。

第5回水泳プログラムは2月11日から始まります。

アスリートの皆さん、スタッフの皆さん、コーチの皆さん、今年もよろしくお願いたします。今年も楽しい水泳プログラムになりそうですね。



## NEWS

## 2002年夏季ナショナルゲームアスリート参加は1600名の規模に

2002年夏季ナショナルゲームの主管が東京に決定したことは前号でも報じましたが、SON東京では、できるだけ多くのアスリートに参加してもらうことを計画しています。前回の神奈川大会のアスリート参加は約300名でしたが、これを800名にし（スペシャルオリンピックスの組織増による自然増）さらに、まだ十分な練習期間を過ぎていない人や、これからスペシャルオリンピックスに入ろうかと思っている人のために特別に参加できるプログラムを用意して、それに参加する人数800名を加え、合計1600名とするものです。

期日は2002年8月15日(木)~18日(日)の3泊4日となっています。アトラクションにも配慮し、楽しく盛大な全国的一大イベントにしたいということです。楽しみです。

## 2000年SO日本パブリック

## エデュケーション研修会報告

広報委員長 多田桂次郎

9月23・24の両日、福岡市博多区のアクシオン福岡において、SO日本パブリックエデュケーション研修会が開催されました。

まず、細川会長の素晴らしいあいさつの後、荒井久也SONアウトリーチ担当執行委員より、全国広報についてのお話がありました。第一に今回SONの広報誌「Rainbow」を創刊したこと（その一面にSON山口アスリートの小方基宏くんの感想文が掲載されており驚きました）。次に、アメリカで使用されているボランティア募集用のパンフレットに似たものをSO日本として作成していく予定であること。また、SOのロゴの使用について間違った使用をしないことなどについて詳しく説明を受けました。

その後、大都市 地方都市 設立3年未満 設立3年以上 複数の地域で活動 一ヶ所で活動が展開という6つのグループに分かれてディスカッションを行いました。私は 地方都市グループに入り、北海道、長野、徳島、広島、熊本、鹿児島、大分、佐賀、石川の方と「アスリートを増やすにはどうしたらよいか」というテーマで意見を交換しました。

ということだったのですが、話をすすめていくうちにだんだんテーマとは離れ、各地区で問題になっていることが話の中心になり、「金がない」「人が足りない」「事務が大変」といった話題になりました。どの地区も同じようなことで悩んでいるんだなと思いました。また、その解決策としてのアドバイスも

いろいろといただき、とても有意義な会議になりました。

一日目の最後は、元電通の岡田芳郎氏による「SOの広報活動について考慮すべきこと」と題した講演会が行なわれました。

研修終了後、福岡市内での懇親会に出席しました。私にとっては、コーチクリニックで山口に来ていただいた方以外はすべて初対面の方で、どういう感じになるのかなと思っていましたが、「SOにはまっている人間」同士、すぐにうちとけることができました（もちろんお酒の力もありますが）。

その中で、私の付けていたバッジを見て、「そのバッジは何ですか」と聞いてきた人がいました。その場できららバッジを進呈し、ちゃっかり「きらら博」を宣伝して参りました。

その夜は、散会したあとも、徳島や大阪のボランティアと一緒に中洲で盛り上がりました。

二日目は、新しいSO説明会の形として「SOフォーラム」というものが提案されました。今回は、模擬的にSON福岡の方にパネラーとして登場してもらい実演を行いました。

参加者は、司会者1名、アスリート2名、コーチ2名、ファミリー3名（うち1名は会場からの参加）、そして外部からSOを見ている人1名の合計9名で、SOの素晴らしさについて語ってもらうという内容で、山口でも試してみる必要があるのではないかと思います。

今回の二日間はとても有意義でありました。次回こういった企画があれば、山口からできるだけ大勢で行ければよいなと思いました。

## 会費納入のお願い

新しい年度になりましたので、会費の納入をお願いいたします。

年会費：一般会員 3,000円(ファミリー・コーチボランティア含む)

学生会員 1,000円(アスリート含む)

団体会員 10,000円

振込先：01340 - 0 - 6009 スペシャルオリンピックス日本・山口

スペシャルオリンピックス日本・山口の運営は皆様からの会費により運営しております。

# ボランティアがたりません

ボランティア組織「スペシャルオリンピックス日本・山口」では現在ボランティアを募集しています。今、私たちが必要としているボランティアは以下のような方です。

アスリート(知的障害者のこと)といっしょにスポーツをしてくださる方

特にこれから、水泳・体操・サッカー・テニス・ボウリングをやりますので得意な方は大歓迎です。また、得意でなくても十分できますので、気楽に参加してみてください。

基本的にプログラムは日曜日に行われます。あくまでもボランティアですから、用事があったら

られない時はそれで結構です。無理せずに参加してみてください。

プログラムを進めるにあたっての受付や連絡などの事務的作業をしてくださる方

広報誌「げんき!!」の作成等を手伝ってくださる方

(原稿の執筆、写真・ビデオ撮影、ホームページ作成等)

事務局の手伝いをしてくださる方

資金面等での協力をしてくださる方

多くの方の参加をお待ちしています。

## お問い合わせは事務局(0836-54-4644)へ

### 編集後記

21世紀最初の日、事務局のOさん(とつてもいい人)から小包が届く。これを見ながら今年の総会の資料を作れということなのであろう。休み明けは多分忙しいので、正月早々パソコンに向かう。

事業計画の資料は三隅プログラム委員長が持っているということなので、三隅先生に自宅に来てもらい、計画案のチェックをする。今年は、去年結局できなかったサツカーと体操をやることになっているので、大まかなスケジュールを組んでみる。プログラムはもちろんだが、それに伴うコーチクリニック、説明会、記録会そしてキャンプやサンキョーパーティーなどのイベントをカレンダーに書き入れているとふと思う。「いつ休むの?」

昨年は、どうにかこなすことができたSOの活動だったが、今年は少しはスムーズに運営できるのではないかとと思う。しかしそれも、多くのボランティアの協力があったこそだ。常に言っていることだが、一人でも多くのボランティアの確保が必要となるだろう。

これを読んでる人の中には、もうSOのことなんか忘れてる人もいるかもしれない。そういう方にも、もう一度この輪の中に入っていたら、我々と同じ感動を味わってもらいたい。

(広報委員長 多田桂次郎)